

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、増加している。設備投資は、増加している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。住宅投資は、持ち直している。この間、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・増加している

12月の公共工事請負金額は、国などの発注が増加したものの、市町村などの発注が減少したため、前年を下回った。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2024年 3月	6月	9月	2024年 10月	11月	12月
山形県	▲19.3	▲3.2	11.8	61.8	▲22.5	▲45.8

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資・・・増加している

12月短観における2024年度の設備投資計画(全産業)をみると、製造業、非製造業とも増加し、前年度を上回る計画となっている。

この間、11月の建築着工床面積(民間非居住用)は、農林水産業などが減少したものの、製造業などが増加したため、前年を上回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額(2024年12月山形短観) 前年度比、%

山形県	2022年度(実績)	2023年度(実績)	2024年度(計画)
全産業	▲16.9	▲4.4	9.4< ▲4.7>
製造業	100.8	▲5.5	12.6< ▲7.5>
非製造業	▲61.2	▲2.1	3.3< 1.7>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積(民間非居住用) 前年比、%

	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 9月	10月	11月
山形県	105.5	▲61.7	144.0	10.5	▲27.2	15.4

<資料>国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している

11月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）は、前年を上回った。ドラッグストアは、44か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストアは、前年を上回った。ホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2024年 1~3月	4~6月	7~9月	2024年 9月	10月	11月
全店	2.6	0.3	0.3	1.2	▲1.5	1.6
既存店	0.6	▲0.6	▲0.7	0.2	▲1.5	1.6

〈資料〉経済産業省

12月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2024年 3月	6月	9月	2024年 10月	11月	12月
乗用車 合計	▲28.7	▲6.4	5.2	▲2.1	▲4.1	▲9.5
普通車	▲13.8	▲7.2	6.4	12.6	4.7	▲2.6
小型車	▲50.3	▲23.6	▲7.3	▲6.4	▲17.6	▲17.5
軽四輪	▲27.4	6.7	12.7	▲11.4	▲3.5	▲11.3

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに増加している。

(4) 住宅投資・・・持ち直している

11月の新設住宅着工戸数は、分譲が減少したものの、貸家と持家が増加したため、前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 9月	10月	11月
山形県	▲30.5	9.2	▲8.2	5.3	26.5	22.5
持家	▲20.2	▲11.3	13.9	0.0	1.0	26.4
貸家	▲9.8	152.9	114.1	16.1	77.3	38.6
分譲	▲64.1	▲47.6	▲87.8	▲2.9	▲36.7	▲37.8

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直している

10月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った。業種別にみると、電子部品・デバイス、金属製品など5業種で低下したものの、汎用・生産用・業務用機械、化学など17業種で上昇した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

（図表7）鉱工業指数

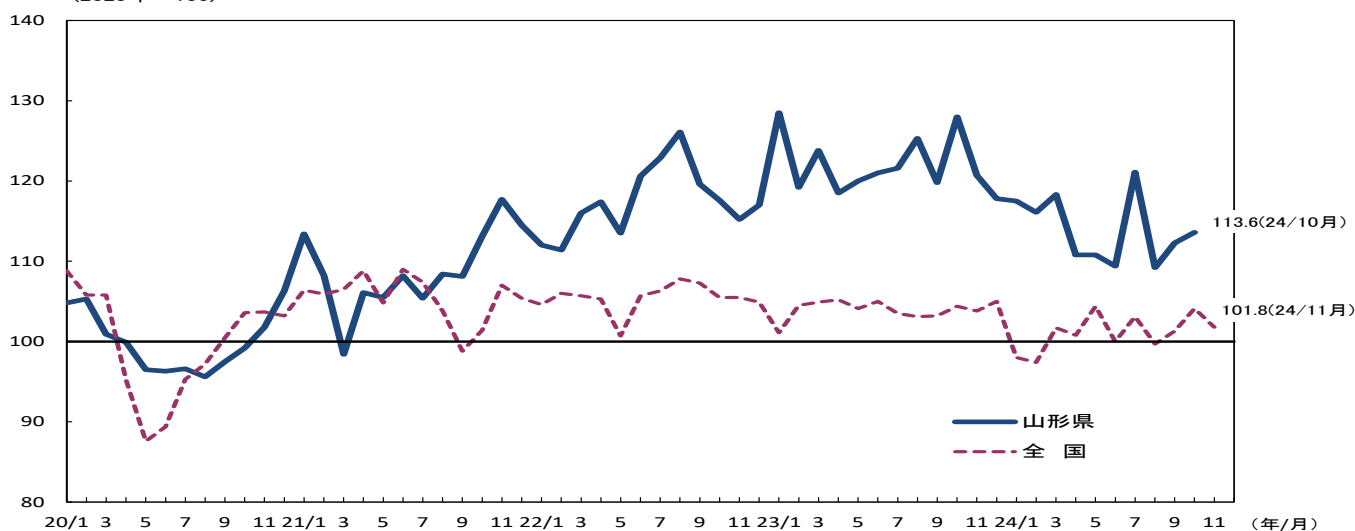
2020年基準

山形県		2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 8月	9月	10月
生 産	季節調整済前月比%	▲2.4	1.9	▲1.3	▲9.8	2.8	p 1.2
	原指数前年比%	▲3.5	▲8.3	▲13.2	▲14.6	▲7.0	p ▲9.4
在 庫	季節調整済前月比%	1.4	5.4	▲2.5	0.4	0.8	p ▲4.1
	原指数前年比%	9.4	8.4	▲3.0	▲4.1	0.4	p ▲5.8

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2020年＝100）



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

11月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.40倍となった。業種別の新規求人数をみると、卸売・小売などが減少した一方、医療・福祉、サービスなどが増加した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2024年 1～3月	4～6月	7～9月	2024年 9月	10月	11月
有効求人倍率	1.32	1.28	1.37	1.37	1.37	1.40
完全失業率	2.1	1.7	1.9	—	—	—

〈資料〉総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

10月の常用雇用指数は前年を下回った。所定外労働時間は前年を上回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 8月	9月	10月
常用雇用指数	1.3	1.1	▲0.1	0.2	0.1	▲0.1
所定外労働時間	▲10.1	▲9.5	6.3	4.3	5.2	4.9

<資料>山形県

10月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 8月	9月	10月
現金給与総額 (名目賃金指数)	5.2	0.3	4.9	2.0	3.4	3.6
きまって支給 する給与	0.9	1.3	1.6	4.3	4.8	4.4

<資料>山形県

5. 企業倒産・・・低水準ながら前年比増加

12月の企業倒産(負債額10百万円以上)は11件、負債総額は31.6億円となった(前年同月は5件、17.3億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2024年 3月	6月	9月	2024年 10月	11月	12月
件数	13	6	6	7	4	11
負債総額	13.2	4.7	4.5	33.4	10.0	31.6

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

11月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020年基準、前年比、%

山形市	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 9月	10月	11月
総合	3.5	3.5	3.4	2.9	2.6	3.4
生鮮食品を除く総合	3.1	3.3	3.1	2.8	2.6	3.1

<資料>山形県

7. 金融

11月の県内預金(銀行+信用金庫)は、概ね前年並みで推移している。県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。この間、貸出金利は、緩やかに上昇している。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山形県	2023年 12月	2024年 3月	6月	2024年 9月	10月	11月
実質預金+CD (末残前年比)	0.5	0.2	0.3	▲0.5	▲0.4	0.1
貸出金 (末残前年比)	3.5	4.6	4.3	3.4	4.3	4.8

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山形県	2024年 1~3月	4~6月	7~9月	2024年 9月	10月	11月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	0.000	0.018	0.021	0.019	0.012	0.009

11月末水準
0.926%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004